※本スライドは右から左へお読みください

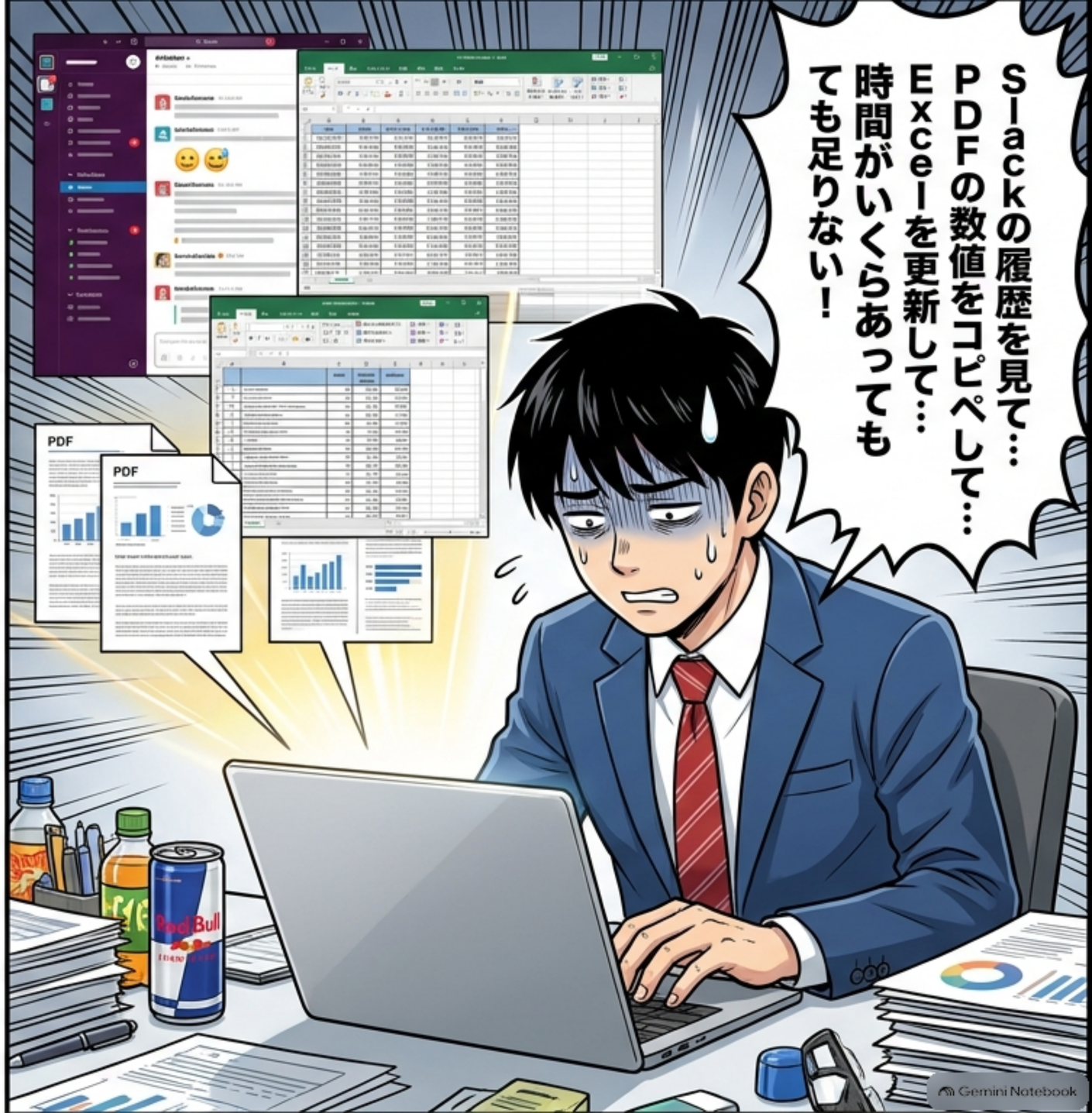
【完全ガイド】Claude×MCPで実現 実現する「委任」の魔法

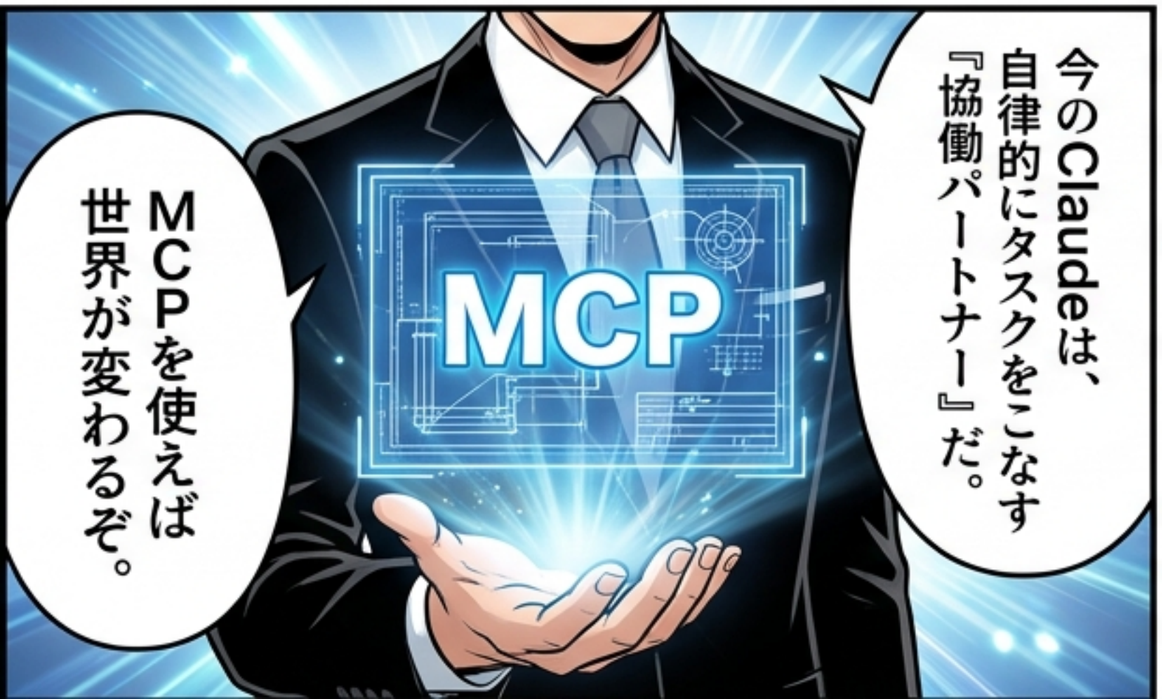
初心者でも迷わない！
初心者でも迷わない！
外部ツール連携・実践操作手順書



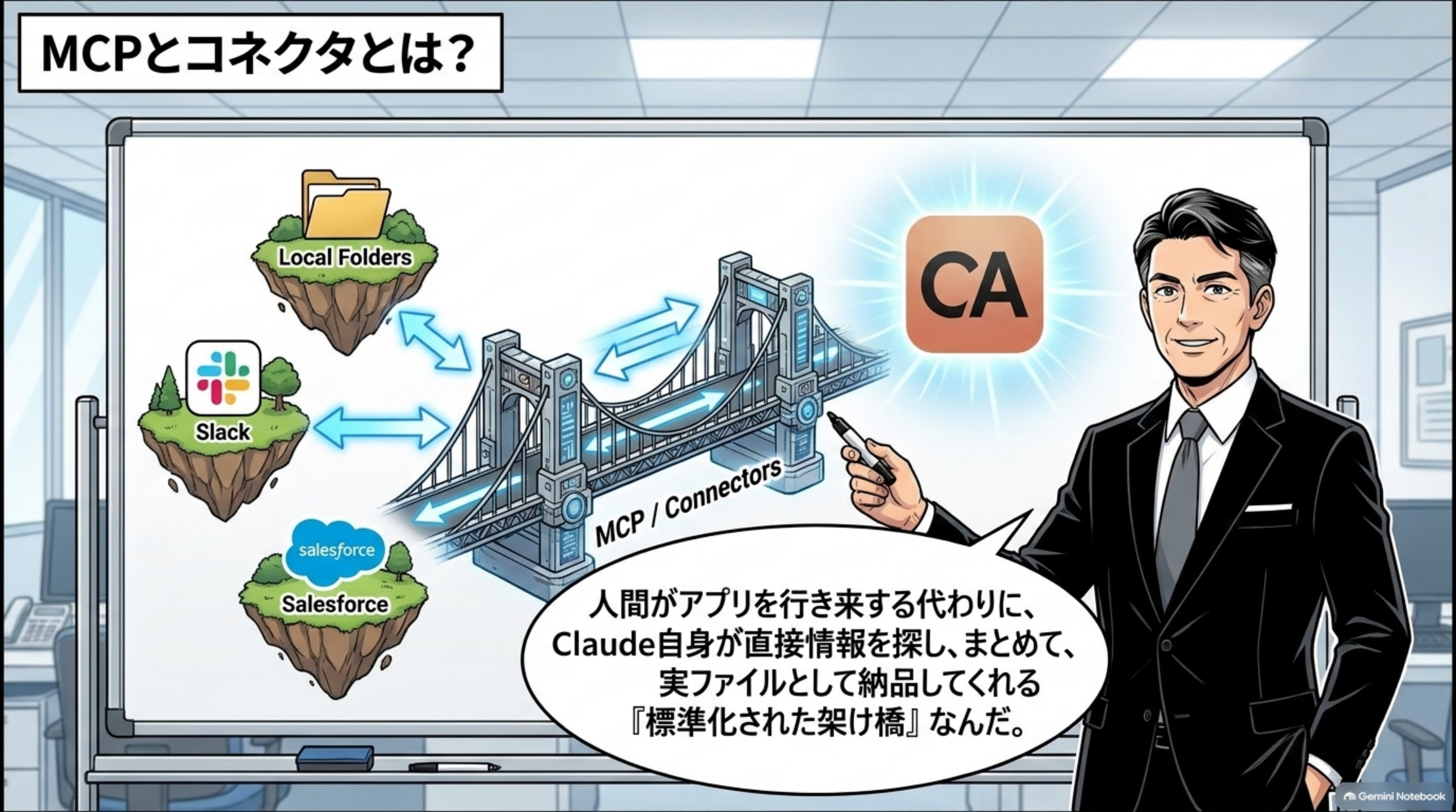
Gemini Notebook

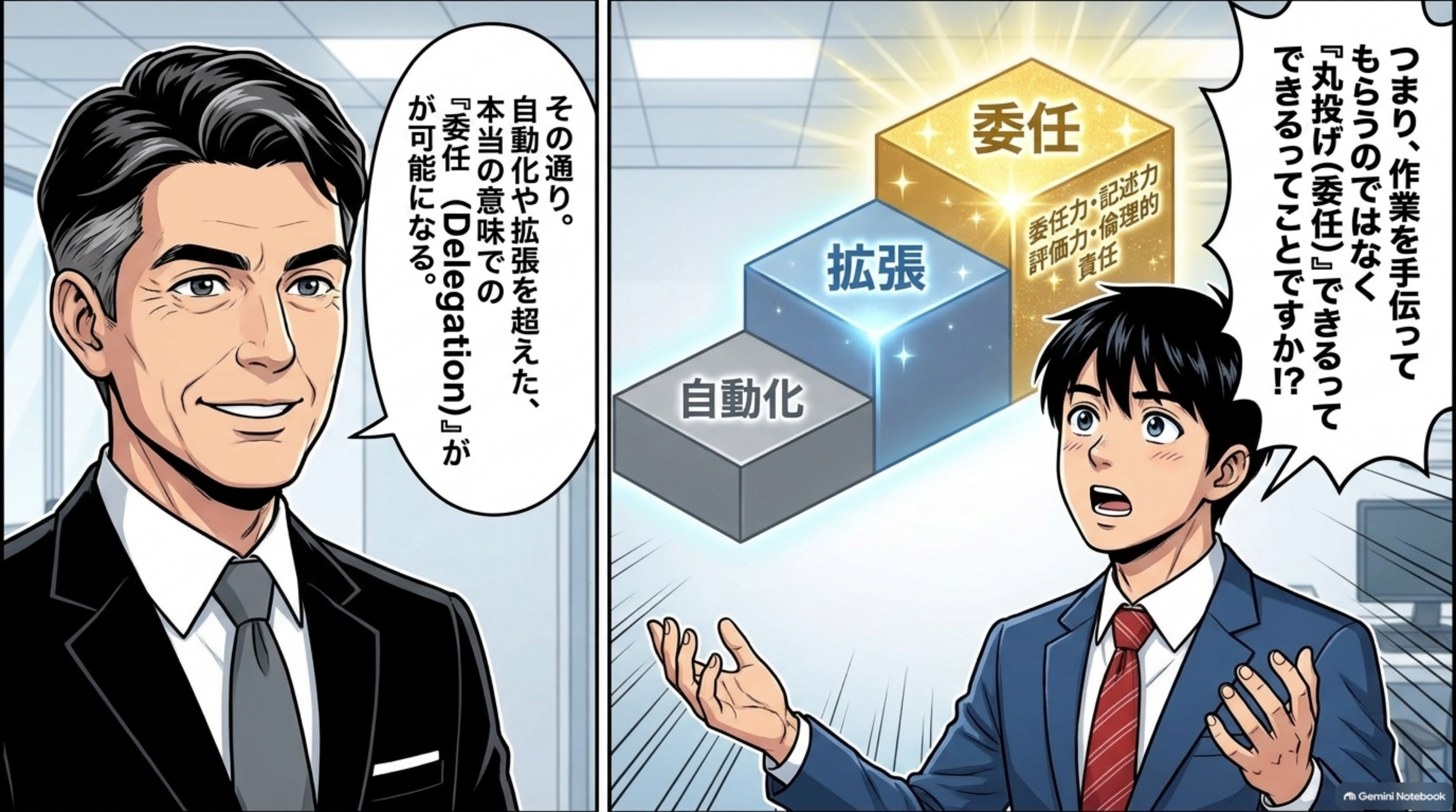

まだ『一問一答』のAIの使い方をしているのか？

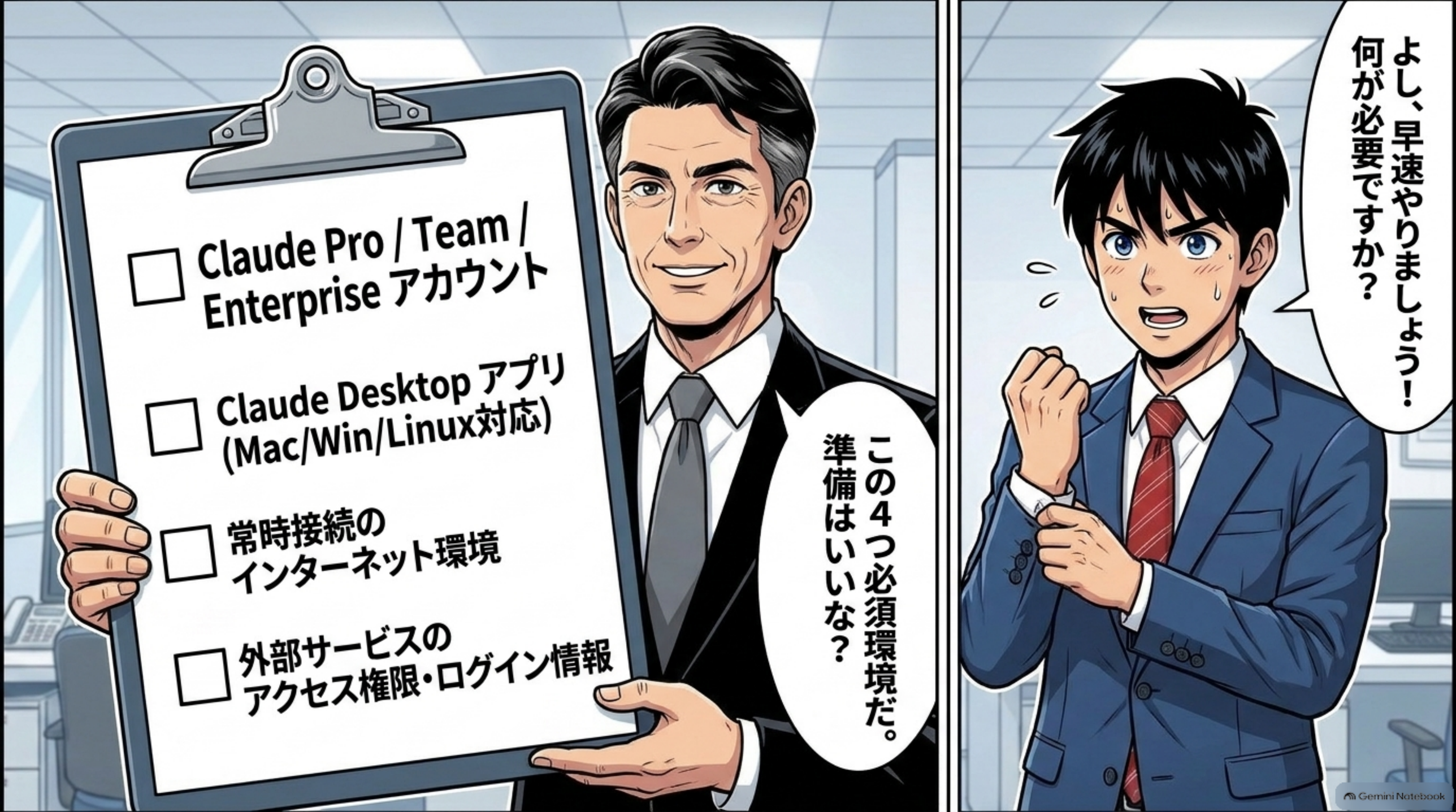

Slackの履歴を見て…
PDFの数値をコピペして…
Excelを更新して…
時間がいくらあっても
ても足りない！
PDF
PDF
Red Bull
Gemini Notebook

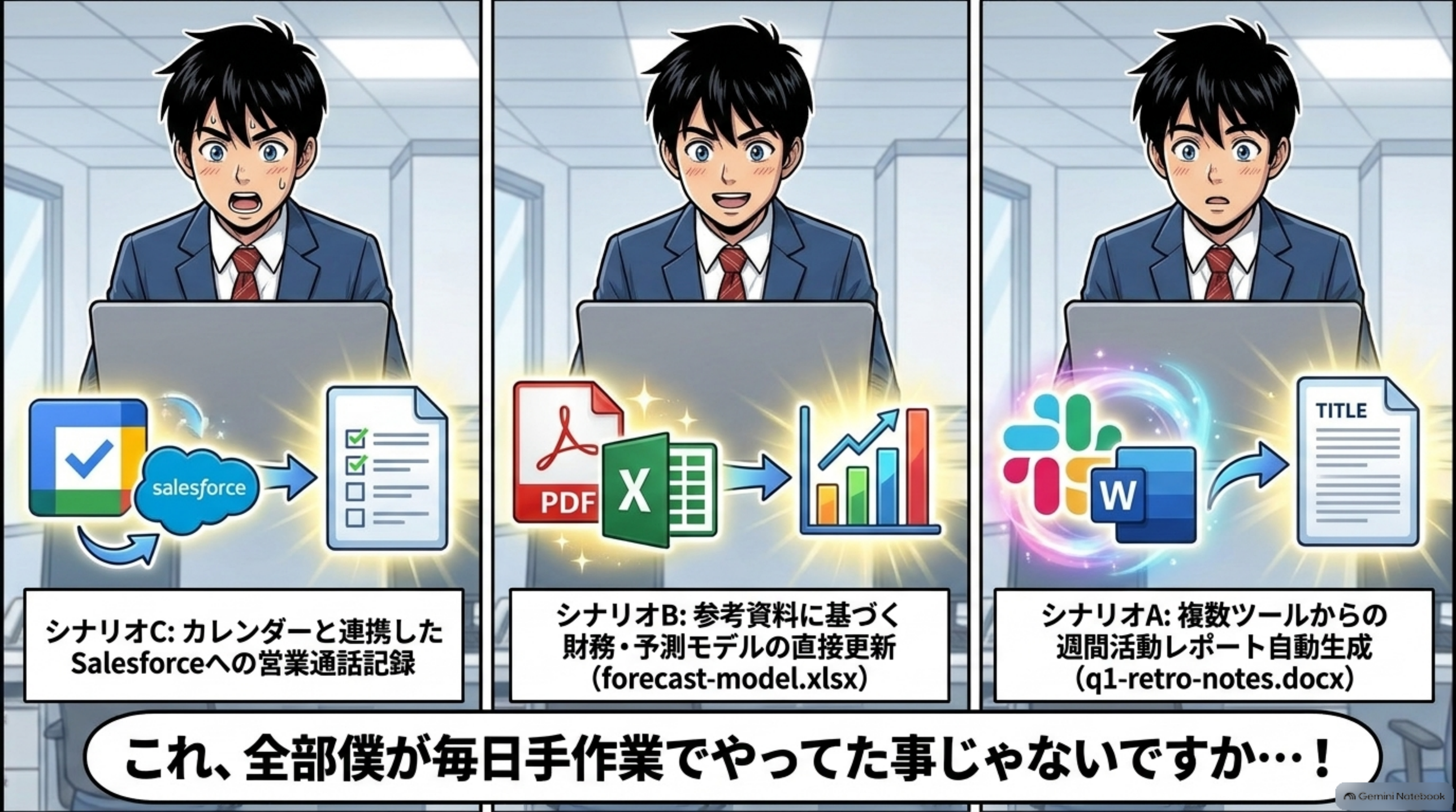

今のClaudeは、
自律的にタスクをこなす
『協働パートナー』だ。
MCP
MCPを使えば
世界が変わるぞ。

MCPとコネクタとは？

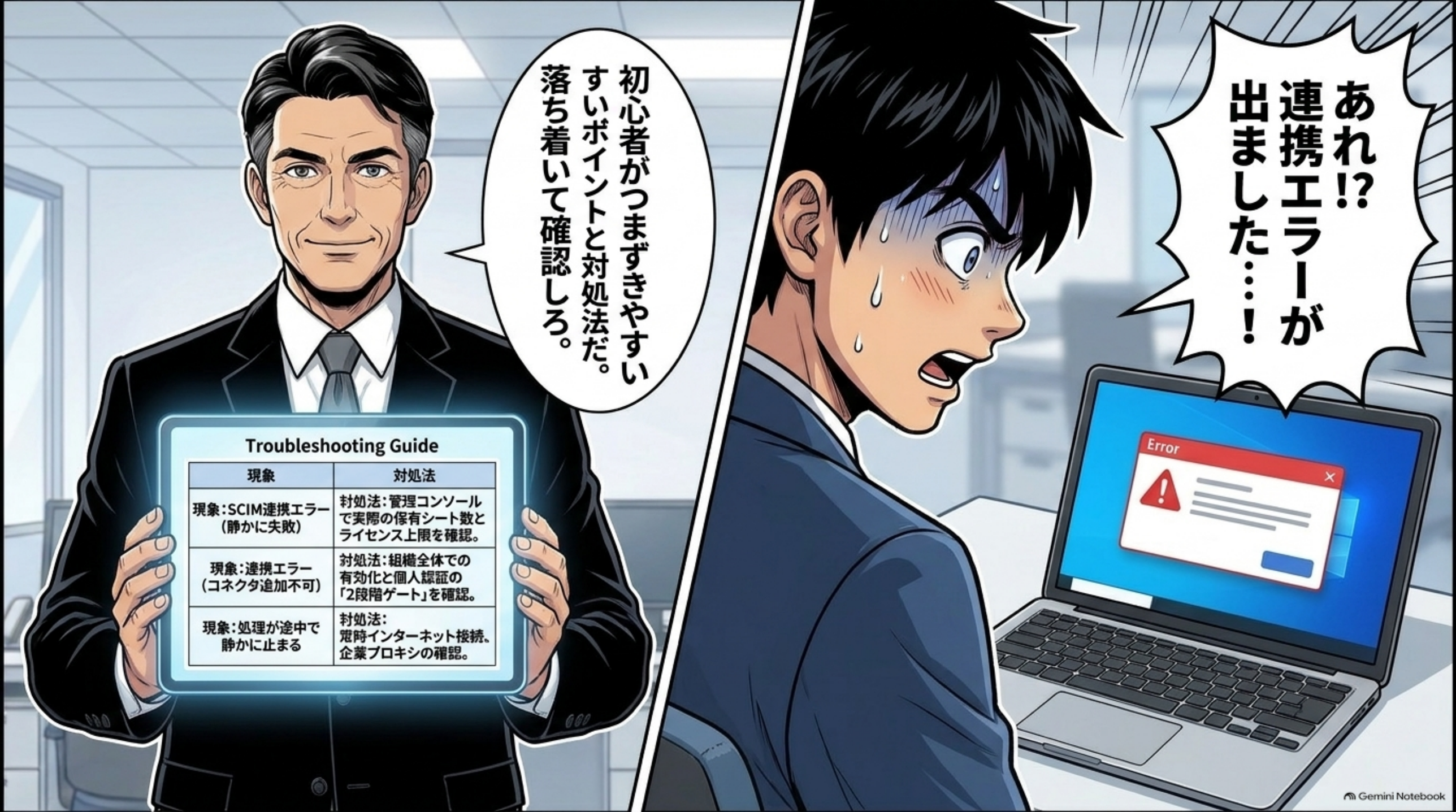

Local Folders
Slack
salesforce
Salesforce
MCP / Connectors
CA
人間がアプリを行き来する代わりに、
Claude自身が直接情報を探し、まとめて、
実ファイルとして納品してくれる
『標準化された架け橋』なんだ。
Gemini Notebook


その通り。
自動化や拡張を超えた、
本当の意味での
『委任（Delegation）』
が可能になる。
つまり、作業を手伝って
もらうのではなく
『丸投げ（委任）』できるって
できるってことですか!?
委任
委任力・記述力
評価力・倫理的
責任
拡張
自動化
Gemini Notebook


よし、早速やりましょう！
何が必要ですか？
この4つ必須環境だ。
準備はいいな？
☐ Claude Pro / Team / Enterprise アカウント
☐ Claude Desktop アプリ (Mac/Win/Linux対応)
☐ 常時接続のインターネット環境
☐ 外部サービスのアクセス権限・ログイン情報


salesforce
PDF
X
W
TITLE
シナリオC: カレンダーと連携した
Salesforceへの営業通話記録
シナリオB: 参考資料に基づく
財務・予測モデルの直接更新
(forecast-model.xlsx)
シナリオA: 複数ツールからの
週間活動レポート自動生成
(q1-retro-notes.docx)
これ、全部僕が毎日手作業でやってた事じゃないですか…！


Cowork
/setup-cowork
1. Coworkモードを選択
2. ガイド付きセットアップ実行
フォルダで作業する
3. 作業場所（フォルダ）を指定
初めて繋ぐ時は緊張するが、
ユーザーの許可なく勝手に
勝手にデタが上書きされる
安心して進めなさい。
繋業もれいつちピス教師


あれ!?
連携エラーが
出ました…！
Error
初心者がつまずきやすい
すいポイントと対処法だ。
落ち着いて確認しろ。
Troubleshooting Guide
現象
対処法
現象：SCIM連携エラー
（静かに失敗）
対処法：管理コンソール
で実際の保有シート数と
ライセンス上限を確認。
現象：連携エラー
（コネクタ追加不可）
対処法：組織全体での
有効化と個人認証の
「2段階ゲート」を確認。
現象：処理が途中で
静かに止まる
対処法：
定時インターネット接続。
企業プロキシの確認。
Gemini Notebook





Gemini Notebook


探索
（リポジトリ調査）
計画
（Plan - 実装手順の
のアウトライン）
実装（Code
- 必要なツールの呼び出しと自己修正）
検証
（Commit -
テストとコミット）
開発環境でのタスクは
『一発で完成』させようとするな。
『探索→計画→実装→検証』の
反復（ループ）が成功の
最大のコツだ！
Gemini Notebook





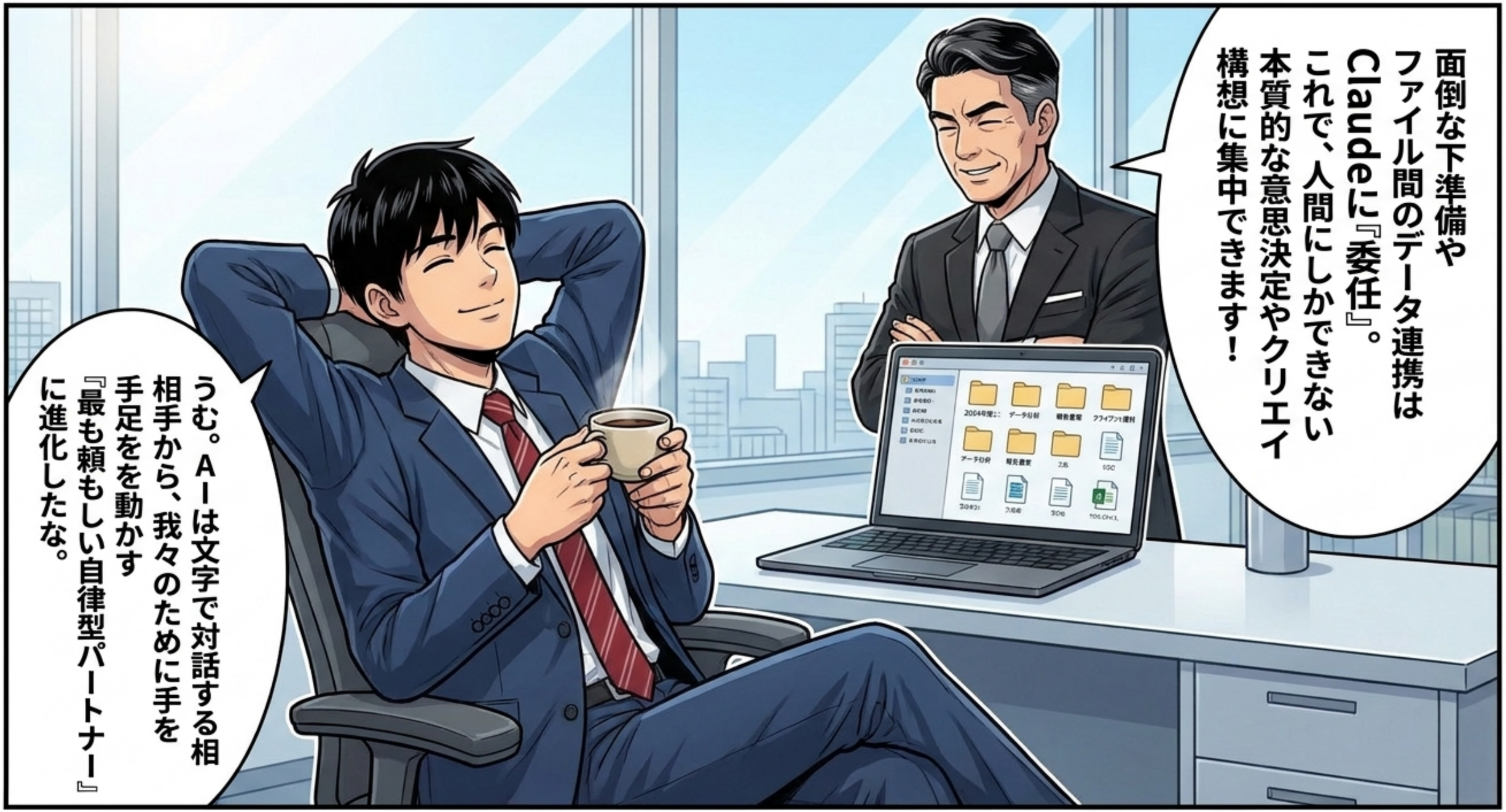
Gemini Notebook



Gemini Notebook



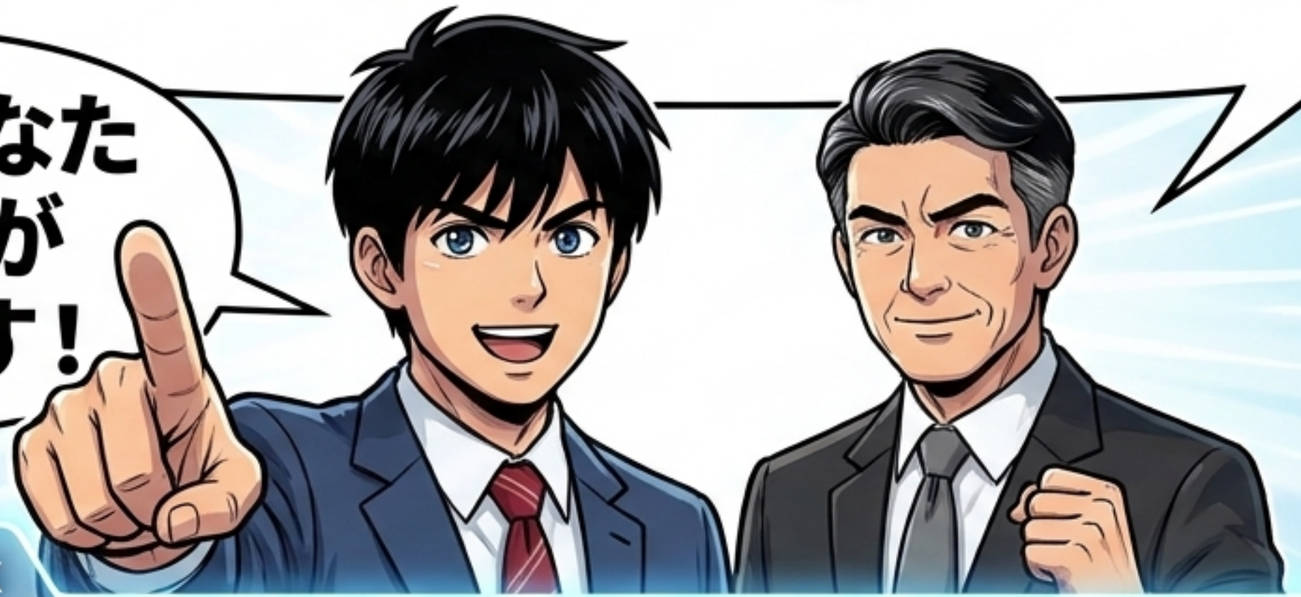
Gemini Notebook



Gemini Notebook

さあ、今すぐ試してみよう!

1. Claude Desktopで「Cowork」を選択
2. /setup-cowork を実行し、作業フォルダを指定
3. 以下のプロンプトをコピペして実行!



Prompt Box

このフォルダ内の調査結果を読み込み、要点をまとめた1ページのブリーフドキュメントを作成してこのフォルダに保存してください。

Gemini Notebook